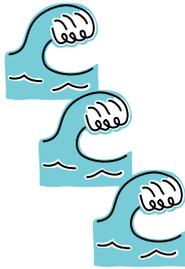
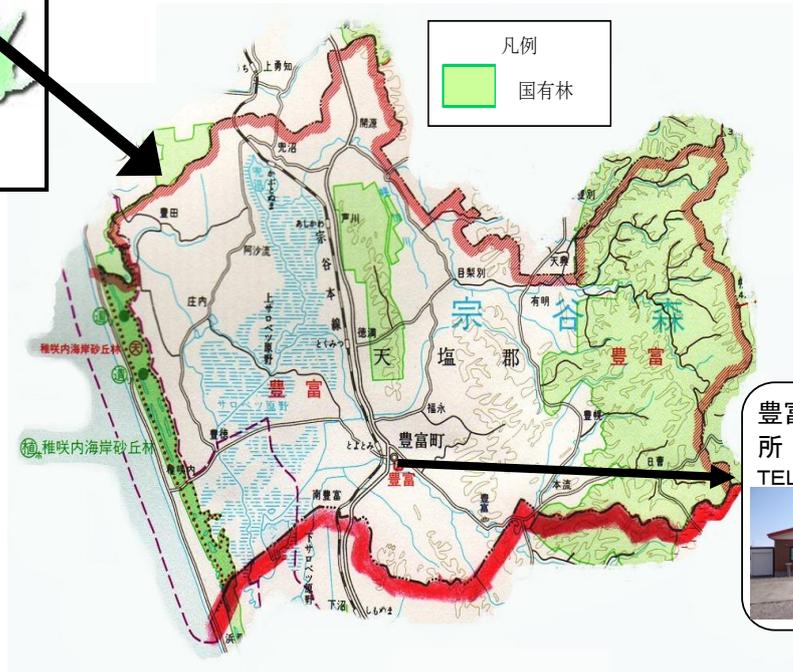


豊富森林事務所 管内概要

(平成25年度)



管内位置図



豊富森林事務所
TEL・FAX



豊富町の紹介

○豊富町は、北は稚内市・南は幌延町・東は猿払村に接し、西は日本海に面しています。気候は夏は涼しく、冬は北西の風が強く乾燥寒冷で、年平均気温は5～6度と低く、11月中旬から4月中旬にかけて降雪がみられます。

○地形は、426mの幌尻山を最高地点とし、260m以下の低いなだらかな山々が続く丘陵地地形となっています。集落は山裾に点在しており、約4,300人の人々が暮らしています。

○本町を流れるサロベツ川と下エベコロベツ川の流域は、泥炭層からなるサロベツ原野を形成しており、この原野は、特徴的な湿原植物と野鳥の渡りの通過点としてすぐれた自然環境を有するため、利尻・礼文・サロベツ国立公園やラムサール条約湿地等に指定されています。

○豊富町の基幹産業は酪農で、広大な牧草地を基盤とした放牧型酪農が展開されています。

○北海道最北端の温泉郷である「豊富温泉」は、アトピー性皮膚炎など皮膚病への効能が有名で、全国から多くの湯治客や観光客が訪れます。



利尻富士とサロベツ原野を望む



サロベツ原野に広がるエゾカンゾウ



エゾシカと見つめ合う・・・



冬でも元気な牛たち



最北端の温泉郷



豊富町の国有林

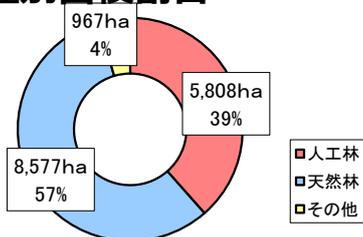
○豊富町(総面積は52,067ha)は、26,684ha(総面積の51%)が森林で覆われており、所有形態別で見ると、国有林面積は15,076ha(総面積の29%、森林の56%)、民有林面積は11,756ha(総面積の23%、森林の44%)となっています。

○豊富森林事務所は、豊富町内の国有林を管轄しています。内訳は、トドマツ及びエゾマツを主体とした人工林は5,811ha(39%)、ミズナラ、カンバ類、ハンノキ等広葉樹が混交する天然林は8,149ha(55%)、その他無立木地は967ha(6%)となっています。

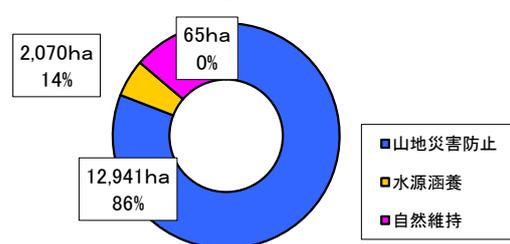
○国有林では、平成25年度から新たに5つの機能類型に区分し、それぞれの目的に応じて「国民の森林」として持続可能な森林の経営に取り組んでいます(豊富町の国有林は「山地災害防止タイプ」「自然維持タイプ」「水源涵養タイプ」が該当しています)。また、立木伐採や土地の形質変更等に対し一定の制限を課すため、各種保安林にも指定をしています。これらの区分や指定に応じ、適切な森林の管理・経営を行っています。

○また、国有林では、豊富町稚畷内の国有林(砂丘林)を国有林独自の制度である「保護林」に指定しており、沼や湿地が介在する砂丘林上に針交混交林・トドマツ林など特殊な立地条件化に成立した砂丘林を保護しています。なお、当該国有林は国立公園の特別保護地区にも指定され、厳重に保護されています。

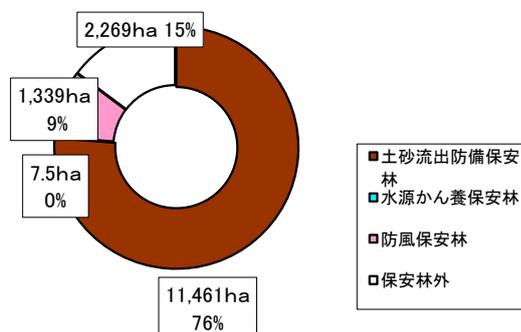
林種別面積割合



機能類型別面積割合



保安林面積割合



国有林の仕事

～森林事務所では、地域の環境条件に応じて、1年間様々な仕事を行っています～

春

- 豊富では、4月中旬頃から山の雪が解け始めます。
 - ・雪解け後、林道に危険箇所がないか点検をします。
 - ・4月～6月まで、山火事危険期間となるため、入林者に対し山火事注意の呼びかけをします。

夏

- 造林、治山等事業の最盛期となります。
 - ・各種事業の監督・検査業務を行います。

秋

- 降雪前の事業追い込み時期となります。
 - ・各種事業の監督・検査業務を行います。
 - ・10月から狩猟期間となるため、適切な狩猟の呼びかけをします。

冬

- スノーモビルやゾンメルスキー等を駆使し、冬山での作業を行います。
 - ・地況林況調査(何という名前の木が、どれだけ高く太く育っているのか)を行います。
 - ・造林予定地の視察や測量などを行います。



特色ある国有林～稚咲内砂丘林～

○サロベツ湿原の西側(日本海側)には、海岸線に並行して伸びる幅約3km×長さ約26kmの「稚咲内砂丘林」があります。

○稚咲内砂丘林は、日本海から吹き付ける強風と、砂丘がつくりだす複雑な地形により、多様な植生パターンをつくりだしています。

基本的な植生パターンは、日本海に一番近い砂丘列では、【強風により矮性化したミズナラ林】がみられ、このミズナラ林により強風を防いでいます。

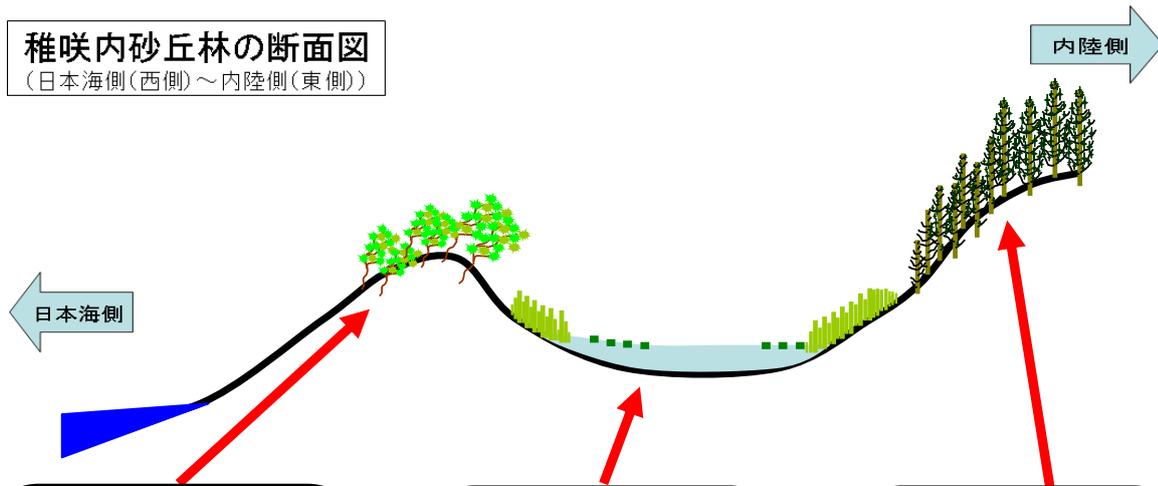
ミズナラ林の背後に広がる砂丘間には【湿原植生と湖沼群】が存在します。湖沼群は、大小100以上もが点在しており、独特の景観を有しています。

湖沼群より内陸側の砂丘列には、【針広混交林】が成立しています。トドマツの天然林、またエゾマツが生育する成熟した天然林は、国内では非常に稀で貴重な森林といえます。

○また、砂丘林は、利尻・礼文・サロベツ国立公園の特別保護地区や鳥獣保護区にも指定されています。ノゴマ、シマオオジ、オオジシギ、ミコアイサ、コマドリ、コガラなど、100余种に及ぶ小鳥の繁殖、棲息地で、四季を通じ小鳥の声が絶えることがありません。

稚咲内砂丘林の断面図

(日本海側(西側)～内陸側(東側))



矮性化したミズナラ林
強い海風により樹形が変形しています。



湿原植生と湖沼群
スゲ類、ヨシ、ネムロコウホネ、フイ、ジュンサイ等の植物がみられます。



針広混交林
トドマツ、エゾマツ、広葉樹からなる針広混交林がみられます。



砂丘林を外から眺めても、砂丘林がつくりだす多様な生態系は分かりません…

奥の緑色の部分が、針広混交林



手前の黄緑色の部分が、ミズナラ林

稚咲内砂丘林は、外から眺めるだけでは砂丘林がつくりあげる特徴的な世界を体感することはできません。
道北の貴重な森「稚咲内砂丘林」を歩いてみませんか。

※砂丘林の中は一部歩道がありますが、迷いやすい地形となっています。
また、ヒグマ等野生動物や沼地が多いため蚊等が生息しています。
入林の際は、装備(地図、コンパス、GPS、虫刺され対策等)をしっかりとしましょう。



市町村林政連絡会議
豊富町役場にて

今年度の事業計画の説明や森林・林業に関する概要、民有林との連携を図るための情報等を行い、意見交換を実施。



造林事業実行後の
状況写真。



融雪後に傾倒した苗木をなおす「根踏」と昨年度植栽の「コンテナ苗」の様子。

山 林 を 彩 る 花 々



ミヤマスミレ



エゾノリュウキンカ



ノウゴウイチゴ



アヤメ